

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公表番号】特表2004-532811(P2004-532811A)

【公表日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2004-042

【出願番号】特願2002-549278(P2002-549278)

【国際特許分類】

A 6 1 K	36/00	(2006.01)
A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	36/60	(2006.01)
A 6 1 K	36/70	(2006.01)
A 6 1 K	36/48	(2006.01)
A 6 1 K	36/75	(2006.01)
A 6 1 K	36/23	(2006.01)
A 6 1 K	36/53	(2006.01)
A 6 1 K	36/81	(2006.01)
A 6 1 K	36/42	(2006.01)
A 6 1 K	36/28	(2006.01)
A 6 1 K	36/899	(2006.01)
A 6 1 K	36/896	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	11/08	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	35/78	X
A 6 1 K	35/78	B
A 6 1 K	35/78	C
A 6 1 K	35/78	D
A 6 1 K	35/78	E
A 6 1 K	35/78	J
A 6 1 K	35/78	K
A 6 1 K	35/78	N
A 6 1 K	35/78	Q
A 6 1 K	35/78	R
A 6 1 K	35/78	S
A 6 1 K	35/78	T
A 6 1 K	35/78	U
A 6 1 K	35/78	V
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	11/08	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/02	
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月13日(2004.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

COX-2発現によって仲介される症状について生物を治療するための組成物であって、治療的あるいは予防的に有効なCOX-2阻害量の食用植物有機抽出物を含み、ここで該抽出物はCOX-1と比較してCOX-2活性を選択的に阻害し、COX-1/COX-2のIC₅₀値によりin vitroで試験したときに、該抽出物のCOX-2活性に対する阻害作用が、該抽出物のCOX-1に対する阻害作用の約2倍以上である前記組成物。

【請求項2】

食用植物が、Agavales、リンドウ目(Apocynales)、サトイモ目(Arales)、ウマノスズクサ目(Aristolochiales)、キク目(Asterales)、フウチョウソウ目(Brassicaceae)、サボテン目(Cactales)、ナデシコ目(Caryophyllales)、ウリ目(Cucurbitales)、Elaeagnales、ブナ目(Fagales)、グネツム目(Gnetales)、イネ目(Graminales)、シソ目(Lamiales)、ユリ目(Liliales)、アオイ目(Malvales)、Musales、フトモモ目(Myrtaceae)、ケシ目(Papaveraceae)、オオバコ目(Plantaginaceae)、ナス目(Polemoniales)、キンポウゲ目(Ranaceae)、バラ目(Rosales)、アカネ目(Rubiales)、ミカン目(Rutaceae)、ゴマノハグサ目(Scrophulariales)、セリ目(Umbellales)、イラクサ目(Urticaceae)、およびスミレ目(Violales)からなる目から選択される請求項1記載の組成物。

【請求項3】

抽出物のCOX-2活性に対する阻害作用が抽出物のCOX-1活性に対する阻害作用の約10倍以上である請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

シソ目(Lamiales)の有機抽出物がシソ科(Lamiaceae)およびクマツヅラ科(Verbenaceae)から選択されるものである請求項2に記載の組成物。

【請求項5】

クマツヅラ科(Verbenaceae)の有機抽出物がハマゴボウ属(Vitex)からなる属から選択されるものである請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

ハマゴボウ属(Vitex)の有機抽出物がアグヌス・カストゥス(agnus castus)種のものである請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

有機抽出物が以下を含む方法により単離される精製組成物である請求項1又は2に記載の組成物：

(a)植物を有機溶媒と接触させて該植物から抽出物を抽出すること[該抽出物はCOX-2活性を阻害する]；そして

(b)COX-2阻害活性を有する該抽出物から有機溶媒を除去すること。

【請求項8】

COX-2発現によって仲介される症状を有する生物のCOX-2仲介性炎症あるいは炎症性疾患を治療又は予防するための組成物であって、治療的あるいは予防的に有効なCOX-2阻害量の請求項7に記載の精製組成物を含む組成物。

【請求項9】

炎症性疾患が関節炎、疼痛及び発熱からなる群から選択される請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

生物におけるCOX-2仲介性の癌の成分を治療又は予防するための組成物であって、治療的あるいは予防的有効量の請求項7に記載の精製組成物を含む組成物。

【請求項11】

癌が上皮細胞癌である請求項10に記載の組成物。

【請求項 1 2】

生物におけるC O X - 2介性の中枢神経系疾患の成分を治療又は予防するための組成物であつて、治療的あるいは予防的有効量の請求項7に記載の精製組成物を含む組成物。